

第27回体協総務発第235号  
平成27年12月22日

東京都知事  
舛添要一様

公益財団法人 日本体育協会  
会長 張 富士 丞

新宿区霞ヶ丘町付近への移転について（要望）

日頃より、我が国のスポーツ振興にご理解・ご協力を賜るとともに、私どもスポーツ団体に対し格別のご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

本会は、国民スポーツの振興を図るため、オリンピック競技大会参加を契機として明治44年に創立され、昭和39年の東京オリンピック開催時、緑あふれる美しい明治神宮及び代々木公園に隣接する現在の地に岸記念体育会館（以下、本会館という）を移転し、活動を続けてまいりました。

平成25年に本会は、「21世紀の国民スポーツ推進方策—スポーツ推進2013—」を策定し、基本理念として「スポーツ立国の実現」を掲げています。これは、私たちスポーツに関わる者がスポーツには社会に貢献できる力があることを理解し発信しながら、スポーツを通してより良い社会の構築に貢献していくという強い思いを表しています。

去る今月15日、東京都は、本会館を含む区域を都市計画公園・緑地の整備方針に基づく優先整備区域に位置付けるとともに、新国立競技場の整備に合わせ、新宿区霞ヶ丘町付近において土地区画整理事業を行うことを公表しました。

今後、東京都の公園事業により、本会館の用地買収手続きが進むことから、本会は、可能な限り公園事業に協力していきたいと考えます。

また、本会は、大規模スポーツ施設を中心としたさまざまな施設の集積により、集客力の高い、賑わいあふれるエリアが生まれ、活力あるまちを再生する神宮外苑地区のスポーツクラスター形成について、賛同しております。今後の「スポーツ立国の実現」に向けて、是非、新宿区霞ヶ丘町付近に移転したいと考えており、移転先を含めご検討のほどよろしくお願ひいたします。

